

科目名	学科	学年	単位	教科書（発行者）	副教材等
保健	国際交流科	2	1	現代保健体育改訂版（大修館）	現代保健改訂版ノート

科目の到達目標	個人及び社会生活における健康・安全について理解を深め、生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、改善していくための基礎知識を習得する。
---------	---

学期	月	単元	学習項目	学習のねらい（到達目標）
一	4	生涯を通じる健康	思春期と健康	思春期の体の特徴とともに、行動面・心理面の特徴を理解する。
			性意識と性行動の選択	男女の性意識の違いを知るとともに、性情報が性行動選択におよぼす影響を理解する。
	5		結婚生活と健康	健康な結婚生活を営むために、心身の発達から見た留意点や結婚生活と健康づくりについて理解する。
	6		妊娠・出産と健康	受精・妊娠・出産のメカニズムを理解を深めるとともに、妊娠・出産期に周囲は何をすべきか考える。
			家族計画と人工妊娠中絶	家族計画について理解を深め、人工妊娠中絶が心身におよぼす影響について考える。
7	加齢と健康	年をとると心身にどんな変化があるか、また中高年期を健康やかに過ごすにはどうしたらよいか考える。		
二	9	社会生活と健康	1学期末考査	
			保健制度と保健サービスの活用	高齢者の健康課題や高齢社会の総合的対策を理解する。保健行政の役割としくみ及び保健サービスの内容や活用法について理解する。
			10	医療制度と医療費
	11		医療機関と医療サービスの活用	医者へのかかり方やインフォームド・コンセント、セカンドオピニオンについて理解する。
			大気汚染・水質汚濁と健康	大気汚染・水質汚濁の健康影響を原因物質の視点から考える。
	12		土壌汚染と健康	土壌汚染の健康影響を原因物質の視点から考えると同時に、大気汚染・水質汚濁・土壌汚染との関連について理解する。
			健康被害の防止と環境対策 環境衛生活動の仕組みと働き	環境汚染の防止・改善・対策を考える。 ごみ処理の過程を学び、ごみ・し尿・上下水道の整備・問題・対策などについて理解を深める。
三	1	食品衛生活動の仕組みと働き	食品の衛生管理のために、行政および製造・生産者が行っている対策例をあげることができるようになる。	
		食品と環境の保健と私たち	食品の安全性を確保するために、私たちができる対策の例をあげるとともに、ごみによる環境汚染防止のための対策を考える。	
		働くことと健康	働くことと、健康が相互に影響していることを知り、働く人の健康問題を考える。	
	2	労働災害・職業病と健康	職場と個人が行うべき労働災害の防止対策を知り、職場における健康管理の必要性を考える。	
		健康的な職業生活	職場の健康増進対策について知り、日常生活の健康増進について考える。	
3	学年末考査			

評価の観点・評価の方法	◎評価の観点			
	関心・意欲・態度	思考・判断		知識・理解
	個人生活や社会生活における健康・安全に関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとする。	個人生活や社会生活における健康・安全について課題の解決を目指して考え、判断している。		個人生活及び社会生活における健康・安全について、課題の解決に役立つ基礎的な事項を理解し、知識を身につけている。
	◎評価の方法 「評価の3観点」に基づき、授業中の発言や取り組みの姿勢、課題の提出及び定期考査を総合して評価する。			